

第2章 計画の目指すもの

2. 1 目指すべき環境像と基本目標像

2. 2 環境施策の体系

第2章 計画の目指すもの

平成29年度を展望した長期的な目標として、環境面から目指すべき環境像とそれを支える基本目標像を掲げ、この環境像の実現に向けた環境施策の体系を示します。

2. 1 目指すべき環境像と基本目標像

「能代市環境基本条例」の基本理念の実現に向け、本市の環境面からみた目指すべき環境像と、それを支える4つの基本目標像を掲げます。

目指すべき環境像

豊かな自然と共生し、安全で安心して住める
環境のまち のしろ

基本目標像

1. 貴重な自然を残せるまち

本市は風の松原、小友沼、七座山原生林、きみまち阪、ふたつ白神郷土の森といった豊かな自然環境に囲まれています。また近くには世界遺産白神山地を望み、歴史・詩情あふれる米代川が豊かな水量をたたえて日本海に注いでいます。

これら豊かな自然環境はしっかりした管理計画と、継続的なモニタリング、そして多くの人々による手入れを必要としています。また心無い人々による貴重な植物等の盗掘やごみの散乱といった問題にも適切に対処しなければなりません。

本市が誇るこれら自然環境の美しさを私たちが、そして将来世代が享受するためには地道な活動が必要です。

2. 健康で安心して暮らせるまち

私たちは誰もが安全で清潔そして豊かな環境で暮らすことを願っています。

幸い、本市はきれいな水と空気そして緑豊かな山々に囲まれた、とても恵まれた環境を先祖から受け継いできました。この豊かな環境は先人そして市民一人ひとりのたゆまぬ努力によって支えられています。新鮮で安全な食材、安心して飲め、使用できる水、適切な廃棄物処理、または資源の有効利用など、将来世代を安心して育てられるまちづくりを進めるため、市民、事業者、行政がそれぞれの立場でできることを一つ一つ積み重ねていきます。

3. エネルギーを大切にし、資源が循環するまち

現代文明、そして私たちの社会生活を支えているのはエネルギーです。

18世紀イギリスで起こった産業革命は石炭という化石燃料を蒸気というエネルギーに変換することから始まりました。エネルギーの安定供給によって我々の生活は便利かつ快適になりました。一方で過剰なエネルギー消費は地球温暖化を招き、それに起因する、砂漠化、資源争奪による国際間の緊張を誘発しています。

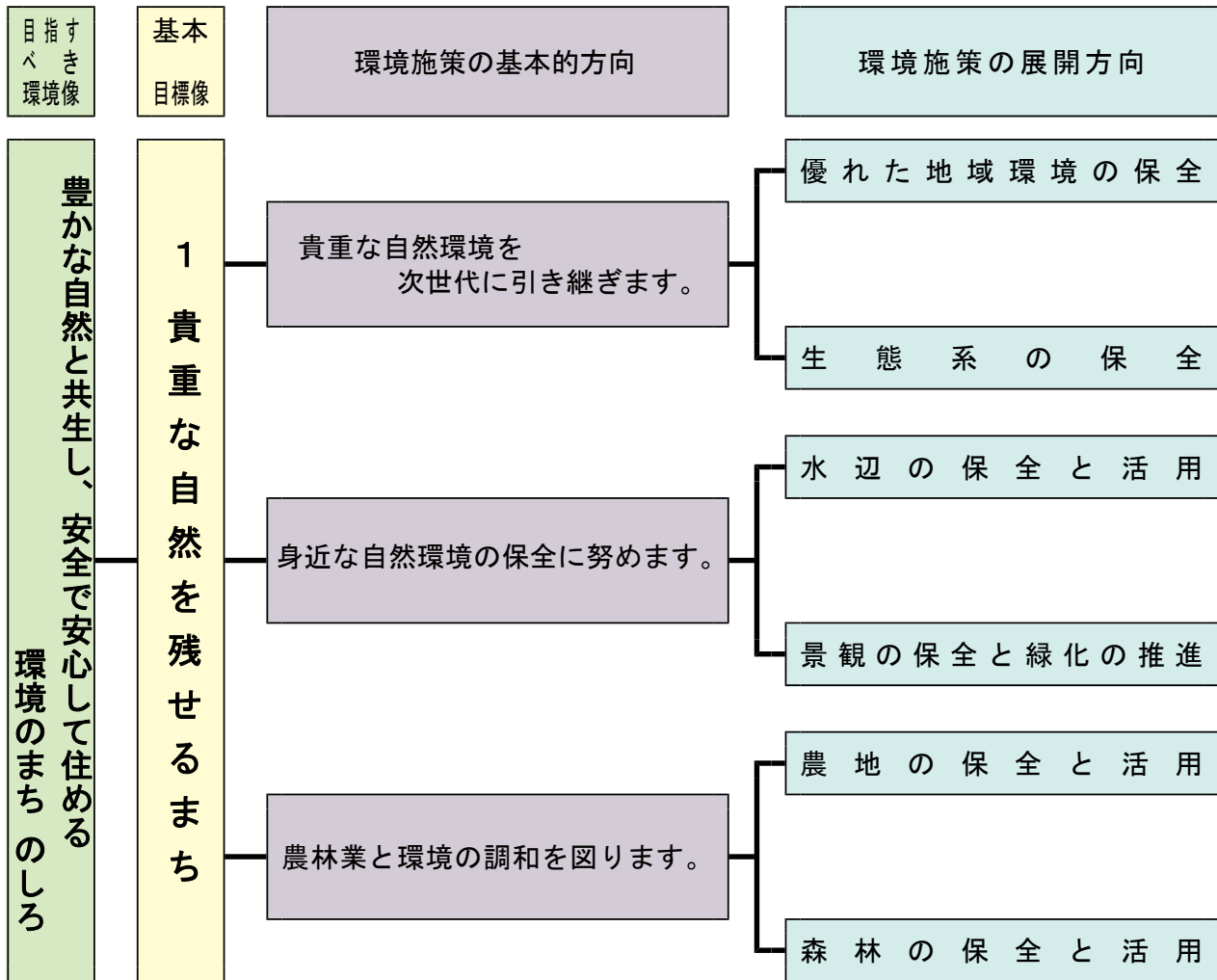
本市では、太陽光・熱、風力、バイオマスといった石油代替エネルギーの利用や省エネルギーへの取り組みを段階的に進めることにより、有限な資源を大切に活かしながら、化石燃料の燃焼に起因する地球温暖化緩和のために取り組んでいきます。

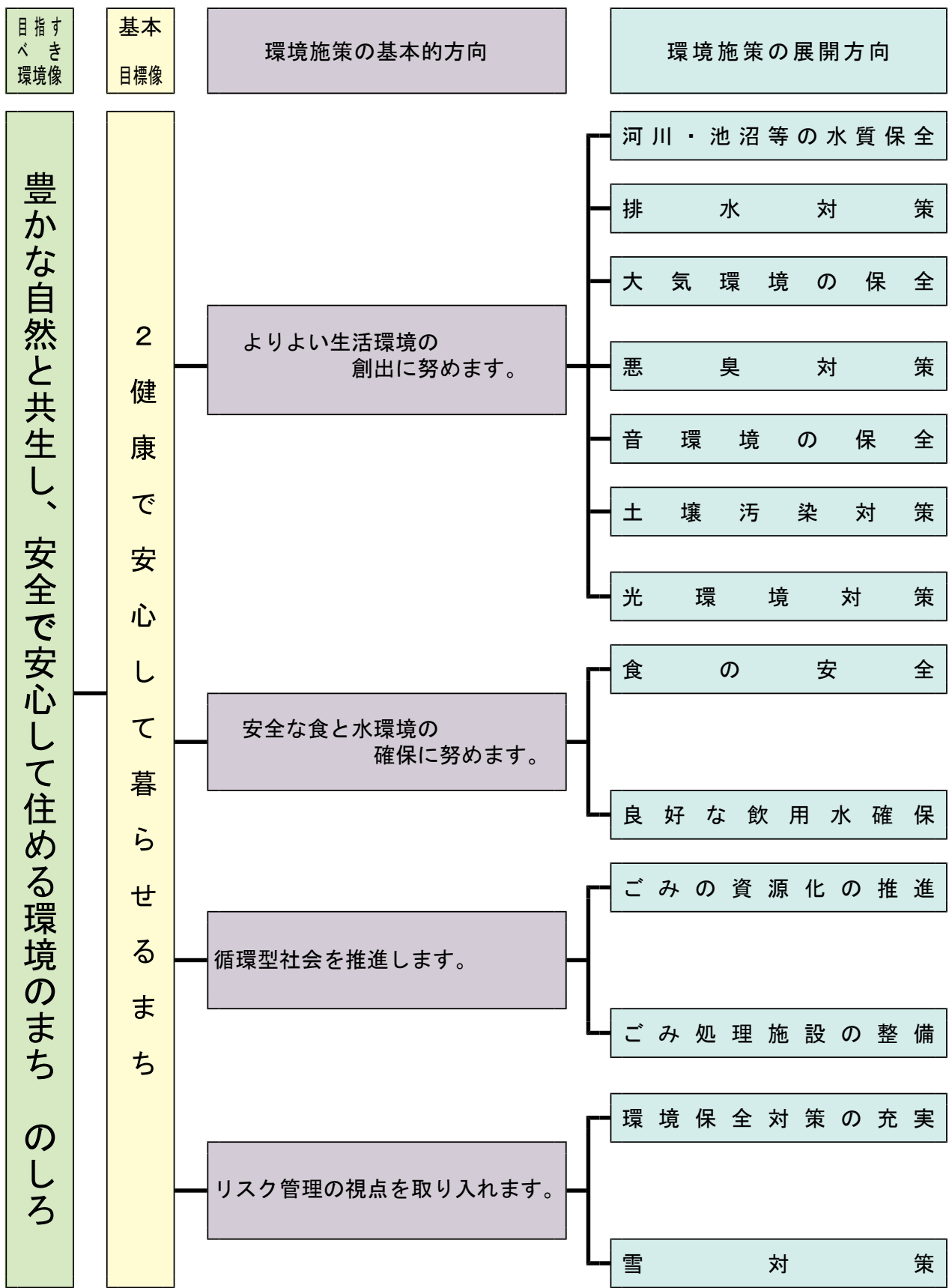
4. 環境について学び、自ら行動できるまち

私たちが直面する環境問題の多くは、環境教育抜きには抜本的な解決には結びつきません。この場合の環境教育は学校教育におけるプログラムだけではなく、大人を対象にしたマナー教育、地域の身近な自然を地域住民が責任も持ってはぐくむアダプトプログラム、先人たちが能代という風土の中で身につけた自然の上手な利用の仕方を継承するプログラムなど、その範囲は多岐にわたりますが、地道な環境教育を今後、市民・行政が協働で継続的に取り組んでいきます。

2. 2 環境施策の体系

目指すべき環境像の実現に向け、基本目標像を柱に次のような体系で環境施策の展開方向を示します。





目指すべき環境像

基本目標像

環境施策の基本的方向

環境施策の展開方向

豊かな自然と共生し、安全で安心して住める環境のまちのしろ

3 エネルギーを大切にし、資源が循環するまち

地球温暖化防止のため、省エネルギーを励行します。

- 省エネルギー行動の推進
- 省エネルギー設備の推進
- 省エネルギーシステムの推進

新エネルギーの導入及び環境と産業の調和を図ります。

- 新エネルギーの導入・普及
- 環境と調和した産業の振興

4 環境について学び、自ら行動できるまち

環境学習や環境保全の活動を広めます。

- 環境学習の振興
- 環境保全団体の育成
- 環境情報の収集と発信

「もったいない」という意識を高めます。

- ごみの発生抑制の推進
- 再利用の促進

きれいなまちづくりを進めます。

- 美化意識の啓発
- 不法投棄の防止